【兵庫県】

兵庫県立東播工業高等学校

空飛ぶ車いすサークル

高校生ボランティア・アワード2020

よみがえれ
Revive　車いす！

～使われなくなった車いすを修理・再生し、アジア諸国や被災地にプレゼントする活動～

活動概要

近隣の社会福祉協議会・養護学校・老人福祉施設・病院・個人の方々から提供して頂いた、使えなくなった車いすを、修理再生し、車いすが不足しているアジア諸国や被災地へプレゼントするボランティア活動である。

具体的には、車いすの点検、錆落とし、部品の交換、グリスアップ、タイヤの交換、洗浄、塗装、車検である

他国で車いすを使われる方々の心に寄り添い、車いすと一緒に英語と日本語の手紙と作業風景の写真を添えて送っている。

これまでに使用される方々から、感謝の手紙や写真を頂き、心と心の確かな繋がりが感じることが出来た。
人々に尽くす喜びを感じながら、日々の作業に取り組んでいる。

心を込めた　修理・再生

『 笑顔 』

活動の目的・志など

「物(廃棄車いす)を直し、物(再生車いす)を送る。
そして、物を通して心を送る。だから心を込めて直すのだ」をモットーに日々の活動に取り組んでいる。

日本では車いすが、老人ホーム等から年間５万台以上廃棄されているが、アジアでは原則自費購入のため車いすが高くて買えない子ども達が大勢いる現実を知った。
「車いす提供者」→「収集ボランティア」→「修理ボランティア」→「輸送ボランティア」（自分の手荷物として飛行機に乗り込む）→「受け取りボランティア」へと繋がっている

車いすがバトンとなって、飛行機で空を飛んでプレゼントされるので、「 空飛ぶ車いす」と呼ばれている。

完成した車いすは長く使って頂けるよう、また、使う人の側に立って、空気入れが無い場合や、パンクの恐れがある舗装路以外での走行を考慮し、ノーメンテナンス仕様のノーパンクタイヤにしている。

これからも使う人々が笑顔になるような車いすを届けたい。

「活動目標」 みんなが夢を持って参加できるような活動！

～生徒も教師も地域も元気の出る取り組みがしたい～
～社会としっかり関わり学校として地域に貢献したい～

修理活動

修理設備が整っておらず、故障すると使用不能になってしまうため、ノーメンテナンスで使用して頂くために、「本校独自の車検表」を作り、入念にチェックしている。

一見修理する所が無い程綺麗だったが、修理を始めると、全くの使用不能状態であった。一度浸水したものがこれだけダメージを受けることを知り、被災地の大変さを実感した。

活動の詳細（実施内容/成果・実績など）

本校の輸送実績(国別台数)

マレーシア	5 台	台湾	12 台	韓国	17 台	スリランカ	264 台
インドネシア	31 台	中国	10 台	タイ	132 台	ネパール	20 台
イタリア	3 台	フィリピン	2 台	パキスタン	3 台	ベトナム	1 台
コロンビア	15 台	日本(内東日本被災地へ25台,熊本被災地へ1台)			54 台	合計	569 台

活動及び紹介等

８年連続でボランティアスピリットアワードのコミュニティ賞を受賞

防災グッズの製作、地域との防災訓練に使用
①廃棄車いす２台を繋ぎ合わせて「移動可能なリヤカー式調理台」製作
②車いすの軽さや安全性を生かし「小回りの利く運搬車」を２種類製作

毎年、JICA国際協力中学校・高校生エッセイコンテストに応募
（世界の現状や課題に対して関心を深めることが出来た）

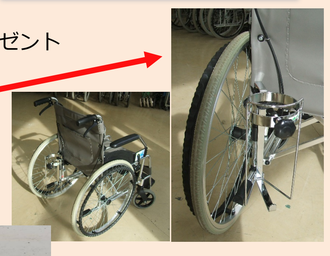
スリランカのアジャンタ・プリマールさん　を通じ、
車いすをプレゼント、懇談会で現地の様子などを聞く

熊本被災地にプレゼント　　隣の方への出前修理

「書き損じはがき・未使用切手」の収集ボランティア
（ノーパンクタイヤの購入や輸送費に一部に活用）

加古川中央ロータリークラブと共催で集めた車いすを修理再生し、地域にプレゼント

近隣の方にアルミ製の車いすに酸素ボンベ設置台をつくってプレゼントした
ひょうごユニバーサル社会づくり賞を頂く
第２回KOBE高校生ボランティアサミットに参加
第１回高校生ともしびボランティアアワードで顕彰



協賛団体等　私たちの活動が地域の企業や団体・個人の方々から認められ、廃棄車いす、磨き粉等の提供を受ける善意を集める活動になっている。

加古川市立加古川養護学校
兵庫県立いなみ野特別支援学校　加古川市議会
ひょうごボランタリープラザ　明石市立明石養護学校
兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター
兵庫県肢体不自由児協会　ヨーデルの森
わかあゆ園（肢体不自由児通園施設）　有限会社モリア総販
兵庫県社会福祉協議会　加古川市社会福祉協議会
高砂市社会福祉協議会　播磨町社会福祉協議会
明石市社会福祉協議会　姫路市社会福祉協議会
稲美町社会福祉協議会　加東市社会福祉協議会
市川町社会福祉協議会　加古川市立陵南公民館
ﾊｲﾄﾞﾗﾝｼﾞｱ(障がい者小規模作業所)　株式会社損龍
加古川中央ロータリークラブ　加古川市役所
ｱｼﾞｬﾝﾀﾀﾞﾌﾟﾘﾏﾗｰﾙ ﾋﾙﾄﾝﾃﾞｨ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ株式会社
兵庫県播磨生活科学センター　順心病院
明石同仁病院　明石愛老園　せいりょう園
ステップハウス　東方文化芸術団　清華苑　稲美苑
ラりグラス　損龍　日本社会福祉弘済会
兵庫県健康福祉部障害福祉課ユニバーサル課
コープともしびボランティア振興財団　常寿園
KOBE高校生ボランティアサミット実行委員会
三木市教育委員会文化スポーツ課　野に咲く花
サポートプラス㈱HOUSU　ビラ播磨　鶴林園
本校同窓会　本校ＰＴＡ　その他（個人）

「三木市ＮＰＯ法人「ラリグラス」理事長の水場あけみ」さんが本校の車いす５台をネパールの支援施設へ
車いすを渡しした骨形成不全症の少年は絵が得意で、手もスムーズに動かないなか描いてくださったと聞き驚きと感動でした。また手紙も頂きました。

テコンドー・ネパール代表選手団８人に５台の車いすを贈呈
東京パラリンピックに向け日本に合宿に来られた時、本校で自己紹介や活動報告等をして交流した。

ネパールの筋ジストロフィーセンターに届けられた車いす
海のないネパールに住む彼らの、一度でいいから海で遊んでみたいという願いが叶って、タイへの一週間の旅行が実現しました。大海原で本校が寄贈した車いすに身体をゆったり預け、微笑む青年たちの写真と一生の大切な思い出をありがとうのメールが送られてきました。

「ラジオ関西」（３０分番組）で紹介、　「サンテレビ」で放映、　ＢＡＮ－ＢＡＮテレビで放送、
神戸新聞・読売新聞・朝日新聞・ハリマ産業新聞・播磨リビング新聞・播磨生活創造新聞・産経新聞に掲載
インドネシアより感謝状を頂く、　バリ島のくぷくぷ(障害児施設)に本校生徒の活動の写真が掲示
兵庫県・高砂市・稲美町・加古川市の社会福祉協議会「社協だより」に掲載、
文部科学省のホームページ(本校の被災地復興に係わる児童生徒の活動事例)に掲載
機関紙「工業教育」「ひょうごの人権教育」に掲載、　地域の方々からも応援のメッセージを頂く

社会人になってもボランティア活動に関わっていきたい

『 感謝 』

社会貢献活動における協力性や、資源を大切にする事、ボランティア精神を学べているのは、多く方々の支えがあるからである。そして人々に貢献できることにも感謝している。
世界中には車いすを必要とされている多くの方がいることを知り、一台でも多く届けれるよう頑張りたい。また、車いすを受け取る人の幸せに繋がると思うとやりがいを感じる。

錆びとり作業は、時間がかかり大変だが、使う人の側に立って、心を込めて頑張っている。この活動を通じて、世界中の人たちとつながっていることを実感している。
災害や、困窮地域での要請があれば、いつでもすぐに寄贈できるように、修理効率を向上させ、多くの車椅子を準備したいと思う。

卒業してからも何らかのボランティアに関わっていきたいという気持ちにさせてくれた「車いす」の活動に感謝している。
長く安全にノーメンテナンスで使えるように努力し、私たちが卒業してもずっとこの活動が続いていくことを願い、日々仲間たちと協力しながら全力でこの活動に取り組んでいきたい。

活動団体プロフィール

２００４年度よりこの事業が立ち上げられ、２００５年度から本校機械科の科目「課題研究」の中で「 空飛ぶ車いす」の修理ボランティアの取り組みを実施してきた。
現在では１2名で「 空飛ぶ車いすサークル」としても活動している。毎年、協力団体及び個人の方々に、活動の経過報告をして、地域との繋がりを大切にしている。